

課題番号: LZ003
助成額: 134 百万円

ライフ・イノベーション

人文社会系

平成 23 年 2 月 10 日
～平成 26 年 3 月 31 日

日本と世界における貧困リスク問題に関するエビデンスに基づいた 先端的学際政策研究

澤田 康幸 東京大学大学院経済学研究科 教授
Yasuyuki Sawada



専門分野

開発経済学・
応用ミクロ計量経済学

キーワード

経済発展／国際経済学／計量経済学

WEB ページ

<https://sites.google.com/site/yasuyukisawadapage/>

研究背景

貧困対策として条件付所得移転政策やマイクロファイナンスプログラムの実践が世界各国で進展しているが、こうしたプログラムの理論根拠を与える厳密な実証研究は未だ数少なく、特に日本において貧困削減プログラムを理論的に設計・実践、成果を検証し知的公共財として役立てるための組織的試みは今までほとんどなされてこなかった。

研究の目的特色

政策設計に資するエビデンスを戦略的に積み上げるための先端的なミクロ計量経済学分析を中核とし、公衆衛生学・防災学や精神医学等他分野の知見を融合しつつ、政府機関・NGOと連携、日本と世界における貧困問題を「リスク」とそれに対する「脆弱性」という視点から、具体的な政策介入との連携を明示し学際的な研究を行う。

実績

代表論文: Journal of Affective Disorders, 147, 385-388, (2013), Economics of Education Review, 37, 85-94, (2013), Journal of Development Studies, 49, 1, 125-133, (2013)
受賞: 日本経済学会石川賞(2011 年)、第 56 回経済図書文化賞(2013 年)
新聞: 日経新聞朝刊「日経・経済図書文化賞」(2013 年 11 月 3 日)、朝日新聞(夕刊)「文芸/批評」(2013 年 10 月 8 日)、日経新聞(朝刊)時事解析: 震災復興データ分析⑤事業再建を支える金融支援にてインタビュー引用 (2013 年 3 月 1 日)、日経新聞(朝刊)(風)広がる計量経済学にて研究成果引用 (2012 年 10 月 22 日)、読売新聞(朝刊)研究成果引用 (2012 年 10 月 10 日)
TV: フジテレビ「とくダネ!」(2012 年 10 月 12 日)内でインタビュー紹介、日本テレビ「スッキリ!!」(2012 年 10 月 11 日)内でインタビュー紹介、NHK ニュース (2012 年 10 月 10 日)内で研究成果引用

研究成果

日本における震災被災者のリスク対処メカニズム比較

阪神淡路大震災・中越地震・東日本大震災(仙台市)における家屋被害に対する自助・共助・公助の相対的重要性を明らかにし、市場・非市場の保険メカニズムの相対の有効性を検証。また、より一般的な視点から「巨大災害・リスクと経済」を上梓(編著)

図 震災による住宅被害に対して異なるリスク対処メカニズムが機能した程度



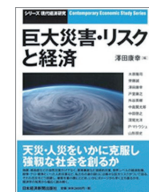
震災により住宅被害に対してことなるリスク対処メカニズムが機能した程度

フィリピン伝統的雇用慣行のメカニズム解明

生産リスク増大・モラルハザード拡大の可能性がある伝統的固定賃金制が、内的動機づけになっており、金銭的動機(外的動機)の導入によってクラウドアウトされることを発見



フィリピンの農村



自殺のない社会へ

精神医学・疫学に加え、社会経済的な見地から有効な自殺対策のエビデンスを積み上げ「自殺のない社会へー経済学・政治学からのエビデンスに基づくアプローチ」(共著)を上梓

2003 年の応用展開

自然災害などにより世界の人々が貧困に陥る「災害リスク」、貧困層がうつ病・自殺に追い込まれるという「精神健康リスク」、日本とアジアで急速な高齢化が進むことによる「身体

健康リスク」について、エビデンスに基づいた新しい政策形成手法が標準化し、より良い社会に向けた官学連携が進むと期待される。